

科目名		病理形態学特論	
科目責任者		中山 敏 幸 (第2病理学 教授)	
開講時期： 1～2年次		単位数： 6 単位	時間数： 90分× 45 回
● 科目の教育目標 一般目標 (GIO) 病理組織学を基本に、組織形態や細胞形態から疾患を理解する。特に、疾患に特有の組織所見を全身臓器において理解する。 行動目標 (SBOs) 1) 全身臓器の正常組織・細胞の種類およびその構造を理解し、概説できる。 2) 全身の各臓器毎に疾患の組織・細胞変化を理解し、概説できる。 3) 臓器および細胞の機能、およびその機能を担う分子を概説できる。 4) 臓器間の機能的関連を説明できる。 5) 臓器および細胞機能解析における病理学的アプローチの手法を説明できる。 6) 病理学的アプローチの意義と問題点を説明できる。 7) 臓器および細胞機能発現に関与する分子の動態を説明できる。 8) 臓器間および細胞間の情報伝達を概説できる。			
● 評価方法		検討会での討論(40%)・発表(20%)・レポート(40%)等で総合評価する。	
● 参考文献		講義の中で必要に応じ紹介する。	

授 業 項 目 (内 容)
全身臓器の正常組織・細胞の構造
循環器系:心臓、血管
呼吸器系-1:上気道・気管
呼吸器系-2:下部呼吸器
消化管-1:上部消化管
消化管-2:下部消化管
肝・胆・膵系-1:肝臓
肝・胆・膵系-2:胆嚢・膵臓
泌尿器系-1:腎臓
泌尿器系-2:尿路・膀胱
生殖器系:男性・女性生殖器
神経系:中枢・末梢神経
皮膚、乳腺、感覚器系
骨、筋肉、結合組織系
細胞診断